

背景

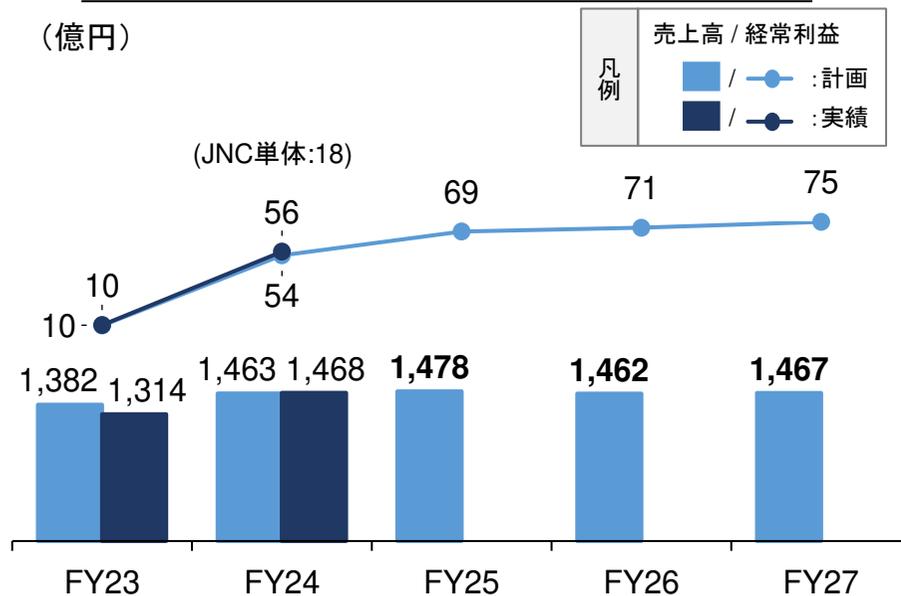
- 当社は、「水俣病特措法」に基づき事業再編計画を策定し、2011年4月より現在の経営形態の下、JNC株式会社が事業再編計画の内容を着実に遂行するよう、その経営の監督に当たってきた。
- 当社は、2024年1月のチツソ株式会社に対する支援措置に関する連絡会議要請を重く受け止め、水俣地域の経済・雇用等に最大限の配慮をしながら、これまで以上に徹底した自助努力など、早期の収益回復と持続的な経営を両立させるための方策として、「2023～2027年度中期計画～業績改善のための計画～」を取りまとめ、2024年2月に公表した。

足下の状況

- 「2023～2027年度中期計画」に基づき、「成長事業への投資」「繊維事業の構造改革による収益改善」「赤字事業への対策を継続」を柱に収益の安定化・拡大に向けた地盤固めの実現に取り組んでいる。FY24は、不安定な国際情勢、資源・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇の継続が景気の下振れリスクとなり、先行き不透明な状況となった。
- このような環境下、①肥料の流通在庫滞留の解消及び製品価格の値下げに伴う出荷回復、②医薬品製造工程向け需要の高まりによるライフケミカル製品の販売拡大、③生産設備の大型定期修繕及び住宅や自動車分野を中心とする需要低迷下での石油化学製品の採算改善、④有機ELの合弁ビジネス及びタイムリーな製品提供による販売拡大などにより、JNC連結経常利益56億円、JNC単体経常利益18億円となり、連結・単体ともに計画を達成した。
- FY25の業績予想については、不安定な国際情勢、物価上昇の継続に加え、米国通商政策の動向に対する懸念など、見通しは極めて不透明な状況であり、現段階では合理的な予想値を算定することが困難と判断し、未定としている。

計画/実績数値

【JNC 連結】売上高/経常利益推移



計画骨子の状況

1 成長事業への投資

本計画にて戦略的拡大と位置づけたシリコン・ライフケミカル事業については、成長投資を進めている。また、同じく戦略的拡大と位置づけた肥料事業及び重点育成とした有機化学品事業については、足下の状況に鑑みながら、成長投資を検討中。

2 構造改革

本計画では、不織布事業における販売規模に見合った生産体制の再編が進行中。

3 赤字事業への対策

赤字事業の黒字化に向けた戦略及びプロセス管理、並びにモニタリング強化による事業管理を実施した。周辺材他事業は、赤字が継続も、損益が改善した。ライフケミカル(シート培地)事業は、原料納入基準見直し等による歩留まり改善策が進行中。